

看護だより #18

新しい学び・人・キャンパス
福岡看護大学の魅力を
ご紹介します!



福岡看護大学 第4学年 川津 麻衣亞

ESS部の紹介

私たちESS部は、海外の方との国際交流を行っています。活動としては、クリスマスパーティーを開いたりして、海外の方と英語でコミュニケーションを図り、お菓子を食べながら楽しく交流を行っています。現在はコロナ禍で実際に顔を合わせて話すことはできませんが、Zoomを使い、写真を見せながら日本の文化の紹介を行ったり、外国の文化について話を聞いたりと、工夫しながら楽しく交流を行っています。今までには、タイ、カナダ、アメリカ、モロッコの方とZoomでの交流を行いました。ESSでは、海外の方との交流を通して、英語を聴いて、話して、学ぶことができます。また、国際交流を行うことで、海外のことについて沢山知ることができるので、世界が広がります。英語ができないから不安という方も多いと思いますが、英語が話せなくても先生方や英語が得意な仲間がいるので安心して活動することができます。海外の方もとても優しくて面白い方ばかりなので、ぜひ私たちと一緒に国際交流を楽しみましょう！（ESS部）

【教員から】

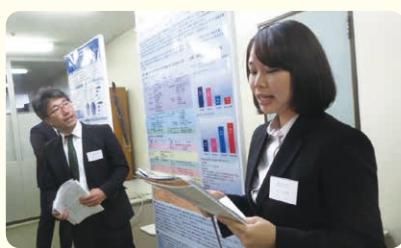
本学では開学当初より、国際的な視野を持つて看護を学ぶという観点に立ち、国際交流活動を進めてきました。ESS部の発足もその一つです。2019年にはオーストラリアのモナツシュ大学に学生12名が参加し、オーストラリアの医療制度、文化的背景、緩和ケアについて学んできました。現在はコロナ禍となり、海外研修そのものは実施できていませんが、2020年にはリバプール大学と国際交流に関する協定書「STUDENT EXCHANGE AGREEMENT」が締結され、今後更に国際交流を進めていく予定です。（大久保や子・寒水章納）



学生の成長は、私の成長の目安です

現在、私は母校である福岡医療短期大学にて教育に携わっています。専攻科在学中は、総合歯科・高齢者歯科を専攻するとともに、第45回福岡歯科大学学会総会にて「福岡歯科大学と福岡医療短期大学の感染対策に関する授業の比較検討」についてポスター発表を行いました。研究と育児の両立は、想像以上にハードでしたがとても楽しかったことを覚えています。学会当日は声が裏返るほど緊張しましたが、発表までやり遂げることができたことは、自分の努力の基盤となっています。専攻科修了後、短大にて基礎教育を経験した後、福岡歯科大学医科歯科総合病院で実践教育を経験する機会に恵まれました。基礎教育と実践教育を経験したことで、知識や技術のみならず患者さんの気持ちに寄り添う心の教育に携わることや学生のちょっととした変化に気づいて積極的に声掛けを行うなど、自分自身も大きく成長したと感じる毎日です。

これから歯科衛生士には、自分の口腔の健康管理を患者さん自身が一生涯を通じて行えるよう支援することが求められます。そのため、現場で経験した多くのことを活かし、生きた教育ができる教員を目指し、日々精進していくたいと考えています。



短大 VOICES #18

夢を叶える場所
「福岡医療短期大学」
多くの出会い・絆を育んでいる
短大の情報をお届け！



福岡医療短期大学 助手
高木 未沙稀